



■ 明日・巣立つ・令和2年度卒業証書授与式

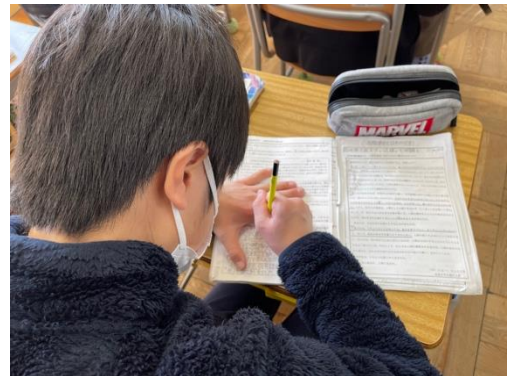
あたたかい春の風が3階教室のカーテンを優しくゆらしています。

6年生、106名。教室での学習も本日が最後になりました。

たくさんの思い出と経験を糧に、卒業生は大きな夢と希望を持って、いよいよ巣立つ日にのぞみます。飯野小学校職員一同、万全の準備をして明日を迎えたいと思います。

卒業生のご家族の皆様には、検温、マスク着用、体調管理をして、ご参列いただきますようお願いいたします。1年生から5年生の児童は、自宅での学習になります。学年からの連絡を確認してください。

■ 「人の尊厳」や「不合理なことに勇気を持って立ち向かう生き方」を学んだ社会科 / 6年生のノートから



1922年大正時代の「水平社宣言」を読んで心に残ったことを書いています。鉛筆の跡とノートの厚みが、積み重ねた学習を表します。

「洗染一揆」のノート

📖 今まで差別されてきた人たちと違って、勇気を出して自分たちの意見を主張してすごいなと思いました。自分が不利でも相手をきずつけることなく行ったことがすごい。



📖 差別をされていた人々は、今まではかわいそうと思ったけど、洗染一揆を学習してからは、負けてばかりではなく、自分たちでもできることがあるのだと思っすごいなと思った。

「水平社宣言」のノート

📖 これだけ水平社も設立して差別を無くそうとしてきたのに、まだ（現代においても）差別をされている人がいると聞いてびっくりしました。だからぼくは差別される人がちょっとでも少なくなるように活動に参加していきたいです。

📖 差別をなくすために、まず自分から気をつけ、何が正しいかを判断していきたいです。

📖 一人ひとりを大切にしないといけないと思った。差別をなくすには相手のことを理解することだと思った。

📖 まだ、差別があるのでなくしていこうと思いました。人権ポスターで、自分でもできそうな取り組みをしようと思いました。

◆ 1年間のノートには「すごい」から、「〇〇したい」「〇〇していこう」という言葉の変化が見られます。他人事から、自分の問題として考え、実践しようとする意識の変化は、子どもたちの学びの積み重ねの成果です。成長は、こんなところにも見られます。たのしい。

■ 学校運営協議会委員の意見と、学校の改善点 ④ (最終)

前号に引き続き、今年度の学校の取り組みについての委員意見と、来年度に向けた学校が示す改善点を掲載します。今回は学校運営全般や学校運営協議会に関することです。

委員からの評価、意見

- ◆課題に対しては、アンケートの分析と対応を重要な研修の柱と位置づけて、これからも具体的な取組を進めて欲しい。
- ◆学校だよりでは、各学年の様子がよくわかる。地域にも回覧されるので、卒業生の保護者と学校行事の話題になることもある。
- ◆学校だよりやホームページ、学級・学年通信などでの活用で、保護者、地域との連携を図っていることは、大変評価できる。少子化や共働きの増加など、子どもと地域のつながりが弱くなり、子育てに不安を感じている保護者も増えている。学校・家庭・地域が一体となって子どもの育ちを支えて欲しい。学校と家庭と地域が目標を共にし、パートナーとして協働することが求められる。地域とともにある学校づくりを期待したい。
- ◆学校運営協議会に参加し、貴重な意見をたくさん聞くことができた。児童が安全安心に留意し、学校生活を送れるよう協議させていただいた。
- ◆PTA 役員として学校運営に参加し、多くの教職員が夜遅くまで作業されているのに驚くことがあった。PTA も役割の多さに気づくことが多く、PTA 会費の集金を口座引き落としにしたり、バザーの廃止、委員会時間の短縮、会則変更をしたり、今後のPTA 役員の負担を減らすことに努めた。時代とともに生活スタイルも変わる中、PTA 活動が家庭の負担とならないよう、児童の安全を第一に運営していける組織になって欲しいと思う。



来年度に向けた改善点

- (1) 1学期と2学期の児童アンケート・保護者アンケートの分析をもとに、取組の成果と課題を整理し、学校関係者による評価を経て、次年度への改善につなぐ、PDCA サイクルを学校経営に確実に活かします。
- (2) 学校、家庭・地域をつなげる重要なツールとして、学校だより、学校ホームページ、各学年・学級だより等を積極的に活用し、教育方針や学習のねらい、子どもの活動の様子などを発信します。
- (3) 学校経営の理念、取組の成果と課題、改善点など、多方面にわたって、各委員より活発な意見をいただくことで、PDCA を効果的に活かした、運営が可能となりました。学校は、委員と協議を活発に進めるための資料（議事録、学校だより等児童の取組の様子がわかるもの、学校関係者評価書、等）や、校内視察が滞りなくできるように準備します。
- (4) PTA と連携、協働しながら、児童の安全を第一にして、効率的な準備や時間の使い方ができるよう、学校行事、PTA 行事を計画していきます。また、教職員、PTA 役員ともに、ライフ・ワーク・バランスを大切にして活動ができるようにしていきます。

